

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	戸田市立下戸田保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	松本 美枝	定員(利用人数)：	100 (99) 名
所在地：	〒 335-0016 埼玉県戸田市下前2-9-22	TEL	048-442-3746

③評価実施期間

平成30年11月 2日(契約日)～平成31年 3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○園内の保育実践の研修や外部研修での学びを活かして、日々の保育活動を進めている
職員同士がお互いの保育を見あって、気付き等を話し合う保育実践の研修会を実施している。他の保育者の保育を見て感じることは、即、自身の保育を振り返ることになり、保育の質の向上につながっている。また、市が主催する研修や職員が外部研修に参加した時には、研修報告や園内での伝達研修を実施している。今年度は、リズム遊びの自主研修に参加している保育士が講師となり、職員全体で内容を共有することで、子ども達が園で行っているリズム遊びに活かされている。同時に経験年数の少ない職員の育成にも役立っている。園内研修の様子と体の使い方はファイルにして保護者にも知らせており、園での取り組みと考え方を理解してもらう機会としている。それぞれの保育者の才能や持ち味を、園長や主任が認めて、園運営に活かすことで保育活動に広がりが生まれている。

○絵本を通して、子ども・保護者・職員がつながる環境を大切にして、色々な実践をしている
昨年度より「絵本から広がる子どもの世界」を柱にして保育実践を展開している。園の掲示板前に大きな木を模した装飾を作って、保育士が好きな本を紹介して「絵本の木」として提示した。それを子どもたちにも広げて、好きな絵本についてその本の面白いところやお気に入りのところ、エピソードなど、保護者が写真やイラストを入れて紹介して「絵本の木」をさらに広げている。他の取り組みとして「おはなしポケット」は本の貸し出しと、毎月1回夕方の時間に手遊びやわらべうた、お手玉なども取り入れて、子どもと保護者を対象にして読み聞かせをしている。運動会や生活発表会なども、好きな絵本を題材にして子ども達との話し合いでプログラムを考えている。「絵本は心の栄養」と捉えて、絵本に対する考え方も職員で共通理解をして取り組んでいる。この絵本に関する取り組みは、保護者・職員ともに保育園の特徴と考えていることが利用者調査や職員調査からも窺える。

○五感を活かした豊かな食育の展開は子ども達の楽しい体験や食への意欲、関心などを引出している

実のなる木や畑、プランターの野菜が身近にあり、子ども達が成長の変化や収穫を楽しむ環境を作っている。季節ごとに栽培した野菜は給食室で調理したり、クッキング保育の材料となっている。かまどを使用してのカレー作りや2歳児から5歳児が調理作業を体験する芋汁作り、ごっこ遊びの中に取り入れたホットケーキ作り、おやつのスイカの種がきっかけとなったスイカの栽培、素材の変化を楽しんだきな粉作りのなどの取り組みは子ども達の食への関心を引き出し、五感を大切にした食育活動となっている。食育活動の中で子どもの気づきや感動を日頃の生活や遊びに展開しており、子ども達の楽しい体験へとつなげている。さらに天気の良い日は園庭や屋上で給食を食べたり、バイキングや行事食、親子で食べる機会など、工夫された様々な取り組みは子ども達の食への楽しみや意欲につながっている。食育活動は、写真やコメントの掲示を通して保護者に発信しており、利用者調査においても食育活動は好評である。

◇特にコメントを要する点

○子ども達が遊びを選択できる室内環境や保育活動のさらなる工夫が望まれる
玩具は種類別に棚や収納ケースに整理され、収納箱には写真や文字で分かりやすく表示しており、子ども達が積極的に片付けができるように配慮されている。現時点では子ども達の要望に応じて、玩具を提供するようになっている。そのため、子ども達が主体的に遊びや玩具を選び、いつでも玩具を手にとることができるようにマークを付けた設置場所の配慮や収納方法の工夫とコーナー作りなど、自ら創造し遊び込める環境と保育活動にさらなる工夫が望まれる。当園では、絵本の貸し出しやおはなしポケットなどの取り組みにも力を入れており、各クラスの絵本についても好きな本を選び、落ち着いた場所で読むことができる環境などを大切にしたい。子どもの年齢や発達を踏まえた絵本や玩具の種類、数などの検討、保育環境のさらなる向上、取り組みなどにも期待したい。

○人材育成などに関する体系が整備されており、個別の研修や育成計画の策定などを工夫して、職員のやる気と働きがいのさらなる向上に活かされたい

人材育成に関する基本的な方針に基づき、市内研修計画に沿って参加し、各職員は保育活動の質向上、保育者としての資質を高める取り組みを進めている。職種別や階層別の研修に参加して専門の研究活動などを通じて、成果などを園内研修や保育活動につなげている。また、業績評価・能力評価・人事評価に関する対応などが盛り込まれた人事評価マニュアルを整え、定期的な面談を行い目標の設定・進捗状況の確認・期末における達成状況に関する自己申告を行い、年度毎の人事評価に活かされている。既存の業務評価シートなどの活用を工夫することで、職員の将来的な展望、希望や要望などを整理し、これまで学んできた内容や経験、経歴なども考慮して個別の研修や育成計画として取りまとめ、人材の育成・職員相互の高め合いにつなげることで、やる気・働きがいのさらなる向上に活かす取り組みにも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者受審にあたり、保護者の方にはアンケートに協力いただきありがとうございました。たくさんの方から回答をいただいたことで、保育園運営における関心の高さを感じ、日頃より保育園運営及び保育園活動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

私たち職員は受審にあたり、マニュアル、保育環境、保育内容等の見直しや再確認を行う中で、新たな気づきをたくさん得ることができました。話し合いを何度も行い、気づきを共有し合い職員が一丸となって取り組めたことは、職員一人ひとりの保育の質の向上につながったことと思います。

訪問調査の中では、園内研修による保育の質の向上、絵本の取り組み、食育等、日頃より力を入れて取り組んでいることに評価いただいたことで大変励みになりました。さらに園の独自性を活かした保育園運営を行っていきたいと思います。今後も、保護者の方とともに、子ども達が安心・安全に過ごせる保育園となるよう職員一同努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり